

## 第 5 回 アスパ高砂に関する調査検討委員会 議事要旨

開催日時	令和元年 10 月 29 日（火） 14：00～15：00
開催場所	高砂市役所南庁舎 2 階会議室 2
出席委員 (50 音順)	山口委員長、岸本副委員長、荒木委員、山本委員、前田委員
議 事	1 開会 2 協議事項 (1)アスパ高砂の継続運営に関する市の施策について（答申） 3 答申 4 閉 会
資 料	<当日配付> （次第書）第 5 回アスパ高砂に関する調査検討委員会会議次第 アスパ高砂の継続運営に関する市の施策について(答申)<素案> アスパ高砂の継続運営に関する市の施策について(答申)<案>
<b>発言者・発言の要旨</b>	
<p><b>1 開 会</b></p> <p>&lt;本日の資料の確認&gt;            &lt;部長あいさつ&gt;            &lt;出席者・事務局紹介&gt;            &lt;委員長あいさつ&gt;</p> <p><b>2 協議事項</b></p> <p><b>(1) アスパ高砂の継続運営に関する市の施策について（答申）</b>            (事務局)            下記の配布資料について説明            アスパ高砂の継続運営に関する市の施策について(答申)&lt;素案&gt;</p> <p><b>(意見、質疑応答)</b>            (委員長)            修正箇所について説明だが、何か意見はあるか。            下線部が修正されたということか。</p> <p>(事務局)            その通りです。</p> <p>(委員)            形式的なことではつまらないことかもしれないが、2 ページの役員の経営責任についてのとこ</p>	

ろで補足説明を入れているが、外書きにしているところが一つしかないので「※1」ではなく、「(注)」の方が良いのではないかと。

(委員長)

後ほど、事務局と相談する。

(事務局)

宜しければ、時間を頂ければ答申を修正させて頂く。

(委員)

お願いします。

(委員長)

その他はどうか。よろしいか。

(委員)

特になし。

(委員長)

答申の決定ということで、修正を反映させて最終答申としたい。よろしいか。

(委員)

はい。

(委員長)

ではこのような形で答申とさせて頂きたい。

### 3 答申

(市長あいさつ)

皆様、お疲れ様でした。ご苦労様でした。

先程、山口委員長からアスパ高砂に関する調査検討委員会の答申を頂きました。この検討委員会は8月9日に設置させていただき、短い期間ではあったが、諮問の項目は多く、内容についても複雑だったと思う。そのような中、本日答申を頂き嬉しく思う。それだけに委員の皆様には多くのご苦労をかけたと思う。この場を借りて心から感謝申し上げたい。

市は、諮問の部分について、オーソライズする場所が欲しかった。市だけで考えるより、専門家の意見を踏まえ、市として意思決定をしたいと思っていた。答申の内容については、十分意を踏まえて、市の対応について整理し、まとめていきたいと考えている。本日で委員会は終了するが、こちらから、また、この件に関して相談することがあるかと思うので、その際にはご協力を頂きたい。本当にありがとうございました。

### 4 閉会

(事務局)

最後に副委員長から一言お願いしたい。

(副委員長)

委員の皆様お疲れ様でした。事務局の皆様もこれだけの資料を準備していただき、お疲れ様でした。私は、弁護士として意見を述べさせて頂いてきた。意見については、答申のとおりであるが、一言申し上げたい。今回、難しいなと委員の委嘱を頂いた時から思っていたのは、第三セクターを清算するという点、かつ第三セクターが商業施設というところで単純な公的

な施設ではないところをどう捉えるのか。単純に商業を活性化するだけの問題ではなく、利益を求める組織、第二セクター、第三セクターが混在している施設である。そこにどういふふうな考え方を持っていくのか悩みながら委員会に参加した。

今回、清算するにあたりどういふ問題があるのかを何点か指摘したが、今後、商業振興(株)は清算会社となるので清算人に弁護士、会計士が入った際に、市がどのように望むべきなのかということ意見を意見させて頂いた。あくまで市は、大株主ではなく一株主という立場で、テナントまたイオンとの外的な交渉だけではなく、社内で意見が株主総会で出てくるのではないかと思う。その際に市としてどのようなスタンスで臨んで頂きたいかということ意見を意見した。そこにあたっては色々意見を交換して頂き、望ましい形の清算業務に臨んで頂きたい。それと、答申にも記載しているが、清算人である弁護士が行うと思うが、清算業務が適正に行われているかの監督を行うことが高砂市には求められている。

答申の最後に支援策として記載しているが、第三セクターであれだけ大きな施設を作り上げた。そこは市民にとってふれあいの場である。第三セクターを解体してしまったということで終わってしまうのではなく、縁を活用していけるようにするのか、そこに関してはあまり議論できていないが、高砂市においては、これから、アスパ高砂をいかに有効に利用していくのか色々検討して頂きたい。答申に付け加えて私の意見とさせて頂きたい。本当にお疲れ様でした。

**(事務局)**

ありがとうございました。全体を通じて、最後に委員長からお願いする。

**(委員長)**

最後に、私の方から皆さんに申し上げたい。

短い期間に熱い議論をして頂き、ありがとうございました。また、職員の皆様にも無理な資料の作成等お願いし、応えて頂きありがとうございました。ある種、前線に立って色んなことを捌かないといけない職員の方は、これから、もっと大変になると思う。健康に留意しながら頑張ってもらいたい。議論の中で、設立の経緯からアスパ高砂には市が関わっている。市の信用で商売をしている方がいる。市民にとっても大事な場所になっているということである。市の信用で作った場所であるため、市民と市の関係が崩れることはよくない。市民との関係をきちんと築けるよう、このことが市の信用を傷つけないようにしっかりやって頂きたい。

このような大きな商業施設について、日本国内、海外に展開している商業施設を持つ会社と地元がどう付き合っていくのかについては、どこのエリアも大きな問題になっている。選ばれて高砂に商業施設をつくっているため、今後も選ばれ続ける努力は市が考えていかなければならない。できる限りここに根を下ろし、継続運営をしてもらい、それに付随して、地元の商業者も根を下ろしてやっていくのであれば、一緒にやっていこうという気持ちで、新しい投資などを考えてくれると思う。根がはれるように土壌整備をきちんとして頂きたい。お疲れ様でした。

**(事務局)**

タイトなスケジュールの中、協議お疲れ様でした。予定の委員会はすべて終了した。ありがとうございました。